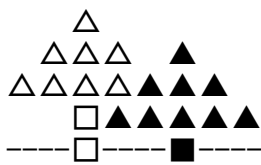


2015/12/28



林業試験場メールマガジン

『北の森の達人』

Vol. 45 第45号

読者の皆様へ

いつも林業試験場メールマガジン『北の森の達人』をお読みいただき、ありがとうございます。
本年もお世話になり、ありがとうございました。
来年もよろしく願いたします。

「光珠内季報」の177号を発行しました。
「光珠内季報」は、WEB版のみの発行となりましたので、当場のホームページ
(http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/about/kanko.htm) よりご覧いただきますようお願いいたします。

刊行物ダイジェスト・・・光珠内季報第177号（2015.12発行）

- 1 遊休農地化した水田に侵入した樹木と土の様子・・・ 1頁
(森林環境部 佐藤弘和・道東支場 佐藤孝弘)

遊休農地化した水田において、天然更新した樹木の状況と土壌の貫入抵抗を調査した。更新木は、ヤナギ類とハンノキ類が多かった。深さ0.6メートルまでの土壌の貫入抵抗からは、根や水を通しにくい硬い層がみられた。硬い土壌の影響が想定される遊休水田において、天然更新や植栽等を通じて林地転換を図る場合には、耕うんのような土壌改良が必要である。

- 2 森林公園の利用者数データの活用方法・・・ 5頁
(道東支場 佐藤孝弘・緑化樹センター 棚橋生子)

森林公園の効率的な運営・管理手法づくりの一環として、本稿では森林公園の利用者数に着目し、利用者数の計測方法、利用者数の変動と背景要因、安全管理への利用者数データの活用方法、利用者数の予測手法をご紹介します。

「第30回ニッセイ財団 環境問題助成研究ワークショップ」が開催されます。

「森里川海の物質の環・地域住民の環の再生を考える」
～北海道東部・風蓮川流域における事例から～

日時 平成28年1月23日(土) 14:00~18:30
場所 かでる2.7(道民活動センター) 札幌市中央区北2条西7丁目
主催 公益財団法人 日本生命財団、公益財団法人 ニッセイ 緑の財団
「森里川海の循環再生」研究会
共催 北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場

後援 NPO法人えんの森

代表研究者である当林業試験場の長坂晶子主査からプロジェクトの概要について説明した後、各研究者から研究成果の発表があります。
事前に申し込みが必要ですので、詳細は日本生命財団のホームページの参加申込画面より、お申し込みください。

林業試験場メールマガジン『北の森の達人』は、北海道の森林・林業・身近なみどりに関わる情報を皆様に直接お届けするメールマガジンです。

■発行・編集

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場
〒079-0198 北海道美唄市光珠内町東山

■問い合わせ

企画調整部普及グループ
電子メール forestry-mmg@hro.or.jp

■記事の取り扱い

林業試験場メールマガジンに掲載された記事を転載することはご遠慮ください。

////////////////////